

観光

躍進する観光事業

美しいビーチやサンゴ礁の豊かな海、変化に富んだ景観という自然資源に恵まれた宮古島には、国内外から多くの観光客が訪れます。特に外国クルーズ船の寄港は著しい増加を見せ、年間観光客数は100万人を越えようとしています。平良港では14万トン級のクルーズ船が接岸できる整備事業も開始され、国際クルーズ船受け入れ拠点として、ますますの発展が期待されます。

また、31年度開港が予定される下地島空港には国内、国際路線の誘致計画が進められ、観光地としての宮古島は、歴史的ともいえる大きな変化を迎えようとしています。

Many tourists from home and abroad visit Miyakojima blessed with natural resources such as beautiful beaches, an ocean rich with coral reefs, and varied landscapes. In particular, the number of ports of call of foreign cruise ships has remarkably increased, and the annual number of tourists is about to exceed 1 million. The Hirara Port has a maintenance project capable of berthing a 140,000-ton cruise ship, and it is expected to get further development as an international cruise ship acceptance base. The Shimojijima Airport with domestic and international flights is scheduled to open in 2019, and it is going to bring great historical changes to Miyakojima as a sightseeing spot.

For that reason, we are rapidly preparing for foreign language courses, human resource development, multilingual signage, and tour-guiding maps to get ready to respond to the needs of the increasing number of foreign tourists.

Tourism

Miyakojima, which consists of six large and small islands, has finally been connected by Ikema Bridge, Kurima Bridge, and Irabu Bridge, which was newly completed in 2015. This not only has enhanced local transportation but has also given many tourists the chance to experience various aspects of the ocean from each of the bridges.

増えるインバウンド

クルーズ船の寄港増加などに伴い、外国人旅行者数は年々増加しています。市では外国語講座や人材育成、看板やマップの多言語化など、インバウンド対応を急ピッチで進めています。



池間大橋



来間大橋



通り池



砂山



中の島海岸



与那覇前浜

体験観光

多様化する観光目的に対応

マリレジャーやスポーツが中心だった宮古島の観光事業も、観光客の増大につれ、その目的も多岐にわたるようになりました。ゴルフや釣りさらには歴史や文化、島の暮らしそのものに触れる体験型の観光も多く求められています。従来の周遊型から、ゆっくりと滞在し、島の人々と交流する観光へという近年のニーズに対応するために、さまざまな試みが始まっています。



ゴルフ

海沿いには 18 ホールの本格的なゴルフコースが点在する。海風を浴びながらプレーできるリゾートゴルフは国内外から人気が高い。



ダイビング

広大なサンゴ礁群、八重干瀬は、スキューバダイビングやシュノーケリングの人気スポット。春から夏にかけての大潮の低潮時には、サンゴの島が海上に現れる。



シーカヤック



やーがまくーがま

佐良浜の迷路のような路地を島人と歩き、民家を訪問する「やーがまくーがま」は、新しい形の観光として注目されている。



As the number of tourists has increased, Miyako Island's tourism, which was once focused on marine leisure and sport, has come to have many different focuses. In recent years, various attempts have been made to respond to the activities that people prefer, such as longer term stays interacting with local people and multiple visits to the island.

Activities

宮古島市体験工芸村

熱帯植物園内の体験工芸村では、宮古上布やシーサー、貝細工、民具づくりなど、島の手仕事を体験することができます。



宮古島海宝館

世界中から集められた12000点もの貝の展示は圧巻。天然ガスの掘削に伴う温泉水を利用した足湯も人気。

宮古島海中公園

サンゴ礁や色とりどりの熱帯魚を、まるで海中散歩するように間近で体感できる海中公園。館内には貝細工の体験コーナーも。



うえのドイツ文化村

ライン川を見下ろす古城、マルクスブルグ城を再現した記念館を中心に子供向け施設やレストランなどが併設されたテーマパークです。



※宮古島になぜドイツ？

明治6年、ドイツの商船、ロベルトソン号が宮国沖で台風のため座礁しました。それを知った住民は荒波の中船を出し、船長と乗組員を救助。手厚く看護し、島を離れる1か月もの間、暮らしの面倒を見ました。乗組員らが帰国後、その話に感動したドイツ皇帝は現在の平良港近くに、宮古島の人々の博愛精神をたたえる碑を建てさせ、以来、宮古島とドイツの交流が続いています。



貝細工工房



宮古上布工房



陶芸工房



藍染工房



サガリバナ

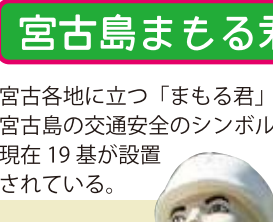
添道サガリバナ。6月下旬から7月上旬にはライトアップされ夜のお花見が楽しめる。



千ガヤ工房



郷土料理体験



宮古島まもる君

宮古各地に立つ「まもる君」は、宮古島の交通安全のシンボル。現在19基が設置されている。



牛角のアクセサリ

木細工工房

万華鏡工房



The experience craft village in the tropical botanical gardens offers compelling experiences such as Miyako Jofu dyeing, Shisaa craft, shellfish work, and folkcraft making. Here and there on the island, you can enjoy a variety of activities such as the sanshin, a traditional Okinawan instrument, local cuisine, fishing, and walking tours.



宮古島市基本理念

心かよう夢と希望に満ちた島 ^{みゃーく}宮古 ～みんなで創る 結いの島～

本市は、平成17年の5市町村（平良市・城辺町・下地町・上野村・伊良部町）の合併により、新生「宮古島市」が誕生し、「こころつなぐ 結いの島 宮古（みゃーく）」を将来像に掲げ、「結い」が表現する相互扶助精神のもと、市民とともに歩みを進めてまいりました。

現在、人口減少社会の到来や地方分権の進展など、本市を取り巻く社会情勢は大きく変化しています。

これからのまちづくりは、本市に関わる全ての人々の知恵や発想を最大限に引き出しながら、特色のあるまちづくりをさらに進めて行くことが求められています。

このことから、第2次総合計画では、「心かよう夢と希望に満ちた島 ^{みゃーく}宮古 ～みんなで創る 結いの島～」を基本理念に掲げ、本市の豊かな自然や暖かい人の繋がりなどの地域特性を活かしながら、文化、環境との調和を図り、新たな島としての魅力や誇りを再確認することで、夢と希望にあふれた活力ある島を創っていきます。

Miyakojima city was born in 2005 by the merger of five municipalities: Hirara city, Gusukube town, Shimoji town, Ueno village and Irabu village. Currently, the social situation of Miyakojima has brought Miyakojima great changes such as a declining population and decentralization. In the future, it will be required to promote distinctive community development with the wisdom and ideas of all people involved in Miyakojima city.

Reaffirming the charm and the pride of the island, we have set six basic goals to create the new dynamic island of hopes and dreams.



基本目標

- 基本目標1 地下水や豊かな自然環境と共生したエコアイランド^{みやーく}宮古
- 基本目標2 子どもたちが笑顔にあふれ活力と郷土愛に満ちた宮古^{みやーく}
- 基本目標3 一人ひとりが支え合い幸せと潤いのある健康福祉の宮古^{みやーく}
- 基本目標4 島の特色を活かした産業の振興、多彩な交流・活力にあふれる宮古^{みやーく}
- 基本目標5 安全・安心で快適な暮らしが持続する宮古^{みやーく}
- 基本目標6 市民との協働により夢と希望に満ちた島、宮古^{みやーく}

- 1. To make an Ecological Island coexisting with groundwater and a rich natural environment
- 2. To make Miyako Island filled with vitality, hometown love and the smiles of children
- 3. To make Miyako Island residents' lives filled with happiness and enrichment by supporting each citizen
- 4. To make Miyako Island promote the industries making full use of the characteristics of the island, with diverse exchanges and full vitality
- 5. To make Miyako Island maintain safe, secure and comfortable living
- 6. To make Miyako Island filled with dreams and hopes through collaboration with the citizens

未来へ新しいまちづくり



宮古島市総合庁舎

2021年度の開庁が予定される市総合庁舎には保健センターも併設される。市の新しい中心拠点として新庁舎を中心に総合的な開発が進められる。



宮古島市未来創造センター

図書館と公民館を併設。市民や観光客が気軽に集える交流の場、生涯教育の拠点として整備される。

